

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2単位
学年	第3学年		男子 9名	女子 2名	計 11名
教科担任氏名	麻生靖之		使用教科書	新高校の数学A（数研出版）	
科目の目標	場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	場合の数と確率、図形の性質の考え方に興味を持つとともに、数学の良さを認識し、それらの事象を考察に活用しようとする。	20%
思考・判断	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、場合の数と確率、図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	20%
技能・表現	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	30%
知識・理解	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	30%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
		第1章 場合の数と確率					
		第1節 順列・組合せ					
4月	5h	1. 集合		○		○	観察 チェック
5月	7h	2. 集合の要素の個数		○	○		
6月	8h	3. 場合の数			○		課題プリント
		4. 和の法則・積の法則		○	○	○	
7月	5h	5. 順列			○		ノートプリント
8月	4h	6. 順列の利用	○		○		
9月	6h	7. 組合せ		○	○	○	週末課題
		8. 組合せの利用	○		○		
		第2節 確率					定期考査
10月	7h	1. 事象と確率			○	○	
		2. 確率の計算		○	○		
11月	8h	3. 排反事象の確率			○	○	
		4. 余事象と確率			○	○	
12月	5h	5. 独立な試行と確率		○	○	○	
		6. 条件付き確率	○	○	○	○	

		第2章 図形の性質					
		第1節 平面図形					
1月	4 h	1. 図形の基本	○		○		
		2. 角の二等分線と線分の比			○	○	
2月	6 h	3. 三角形の外心	○		○	○	
		4. 三角形の内心				○	
		5. 三角形の重心				○	
3月	5 h	1年間の総復習			○	○	